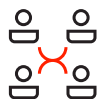


調査結果で見る

金融サービス企業で働く 従業員のハイブリッド・ ワーク・モデルへの意向



キンドリルは、ハイブリッドワーク環境における生産性、コラボレーション、カルチャー、および包括性についての考え方を把握するために、世界中の大手金融サービス企業の管理職およびスタッフ300人を対象に調査を実施しました。

簡潔にまとめると、彼らの回答は「ハイブリッドを導入して、結果を出す」ということです。

調査から得られたことと、金融サービス企業の経営層に提案するアクションステップについて[レポートをお読みください](#)。

このレポートでは、5つの重要なポイントをまとめています。

1

ハイブリッド・ワーク・モデルは金融サービス業界で働く従業員に圧倒的に好まれている

- 回答者の86%が、少なくとも一部の時間はリモートで働くことが重要または非常に重要であると回答
- 75%が一部の時間をリモートで働くことができない場合には、少なくとも他の仕事を探すことを検討すると回答
- 72%が少なくとも週に3日はリモートで働くことを選べるとよいと考えている

2

ハイブリッド・ワーク・モデルは生産性を向上させる

- 回答者の83%はこの取り組みによってより多くの業務に取り組めることに同意または強く同意
- 83%がハイブリッド・ワーク・モデルによって納期を守りやすくなることに同意または強く同意
- 79%がチームのことを考えるとハイブリッド・ワーク・スケジュールを採用することで、同僚がより多くの仕事をできるようになると回答

3

ハイブリッド・ワーク・モデルは コラボレーションを促進する

- 64%がハイブリッド・ワーク・モデルによってチームがより協力的になることに同意または強く同意
- 61%は実際にリモートで仕事を行う際に、同僚に業務に関する意見を求める可能性が高いことに同意または強く同意
- 78%がハイブリッド・ワーク・スケジュールを採用すると、オフィスで働く日に、チームとの連携が強まることに同意または強く同意

4

ハイブリッド・ワーク・モデルがダイバーシティ、 エクイティ&インクルージョン・プログラムを 強化する可能性がある

- 67%が対面での会議よりもバーチャル会議の方が意見を言いやすい環境であると回答
- 64%が「バーチャル会議の方が意見を言いやすい」という意見に同意または強く同意
- 58%が「対面会議よりもバーチャル会議の方が一人がほとんど話していることが少ない」という意見に同意または強く同意
- 78%が「ハイブリッド環境で働いていても、オフィスでフルタイムで働いていたときと同じようにキャリアアップできる」という意見に同意または強く同意

5

ハイブリッド・ワーク・モデルは働き方の カルチャーを改善する

- 85%がハイブリッド環境で働くことが働き方のカルチャーにより影響を与えることに同意または強く同意
- 87%が柔軟な勤務形態が日々の従業員体験により影響を与えることに同意または強く同意
- 91%が「上司は私を信頼してリモートで働かせてくれる」という意見に同意または強く同意
- 74%が「上司は、ハイブリッド・ワーク環境によって、チームのメンバーの生産性/効率性が向上すると考えている」という意見に同意または強く同意

調査データについて

私たちは第三者の調査会社と協力して、少なくとも一部の時間はリモートで働く金融業界の従業員300人を対象にオンライン調査を実施しました。回答は2023年3月30日から4月19日の期間でオンラインで収集されました。

回答者の属性:

- 大企業(従業員数1,000人以上)の一般社員と管理職(非取締役レベル)
- 5年以上の職務経験(対面で働いた経験を含む)
- ヨーロッパ、インド、日本、または北米の主な拠点
- 金融サービス業: 回答者の35%
- 銀行業: 回答者の31%
- 保険業: 回答者の34%

レポート全文を読む



kyndryl

© Copyright Kyndryl, Inc. 2023. 無断複写・転載を禁じます。

本資料は発行時点で最新のものであり、キンドリルが随時予告なしに変更する可能性があります。キンドリルが事業展開するすべての国で、全製品もしくはサービスが利用できるわけではありません。キンドリルの製品およびサービスは、提供されている契約書の条件および制約に基づき保証されます。

記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。キンドリルの製品およびサービスは、提供されている契約書の条件および制約に基づき保証されます。